



鈴木基夫  
自由クラブ

本市のウェルビーイングについて

**問** 幸福的な視点の主観的アプローチと、ヘルスケア的な視点の客観的アプローチの考え方について伺う。

**答** ウェルビーイングの達成には、幸福感の実現と健康の保持増進の2つの視点での推進が重要と認識している。

**問** イネープリング・ファクターを実装する街とすることについて伺う。

**答** イネープリング・ファクターは市民のウェルビーイングを高める上で重要な視点である。街の様々な場所や事象が人々にどのような影響を及ぼすのか、イネープリング・ファクターを把握し、それを実装する新しいまちづくりの手法について検討していきたい。



**問** 市民病院が考えるメディカルデータとの統合やPHR（パーソナルヘルスレコード）の構築について伺う。

**答** 電子カルテのデータを活用できる環境は構築されている。関係機関と協議し活用方法を探ることで、医療・健康分野の質が、更に向上するものと期待する。

**問** 自然に健康になるウェルビーイングの実現に向けたまちづくりについて伺う。

**答** 健康づくりの視点と幸福感からの視点の両方向から自然に健康になる社会環境づくりと、PHRを活用した健康なまちづくりを目指していく。



松本昌成  
公明党市議員

子育ての孤立化を防ぐ取組について

**問** 令和6年4月施行の改正児童福祉法により、こども家庭センターの設置が努力義務となる。設置の考えは。

**答** こども家庭センターを設置し、母子保健機能と児童福祉機能の一体的な相談体制を整備していきたい。組織体制は協議中である。

食品ロス削減の推進について

**問** 食品ロス削減推進計画の策定について、考えを伺う。

**答** 6年度に予定される一般廃棄物ごみ処理基本計画の改訂に合わせて、全庁的な食品ロスの取組、市民との協力体制や、事業者等との連携体制を検討し、具体的な食品ロス削減の取組を計画に位置付

けていきたい。

障がい者支援について

**問** 障害者手帳の情報 スマホの画面に表示し、提示することで割引を受けられるアプリ「ミライロード」の導入について伺う。

**答** 導入済の自治体の状況を確認し、導入の検討をしていきたい。

**問** 市の発行物に、スマホ等に対応したUnivoiceの音声コードを導入し、視覚障害者や外国人の情報取得を支援することについて、考えを伺う。

**答** 県内の自治体等の事例を収集し、調査研究していきたい。



芦川純奈  
自民党市議員

学校給食について

**問** 食物アレルギーにおける、卵除去食以外の対応について伺う。

**答** 乳アレルギーの児童生徒には、申請に基づき牛乳の提供を止め、希望者には豆乳を提供している。また乳製品を使わないカレーや、米粉を使用したフライなどのメニューを提供している。

**問** アレルギー情報の共有や、問題発生時の対応について伺う。

**答** 新入学児は就学時健康診断の際に、在学児童生徒は毎年または3年に1回アレルギー調査を実施し対応の確認を行っている。

緊急時に備えて各学校で連絡体制を作るほか、エビペン講習会などの研修を実施している。

ひとり親家庭支援について

**問** 離婚時の公正証書作成費等の補助を市が行う予定はあるか。

**答** 現時点で市の補助制度は設けていない。他の自治体における対応策や取組を今後研究していきたい。

**問** ひとり親家庭への支援策について伺う。

**答** 資格取得のための高等職業訓練促進給付金や、JR通勤定期乗車券の割引制度などがある。親の就学や疾病等で援助が必要になった際には、家庭生活支援員を派遣する、母子家庭等日常生活支援事業などがある。



学校給食センターアレルギー室での調理